

小学校高学年

～私たちにできること
（自助について）～
発問計画

4 時限目用

発問計画・学習教材

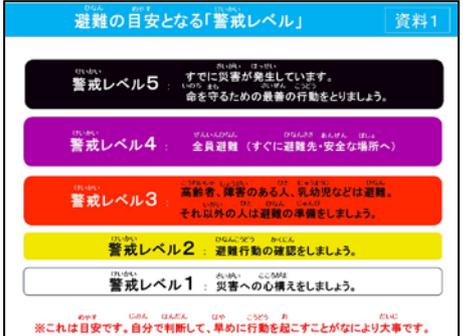
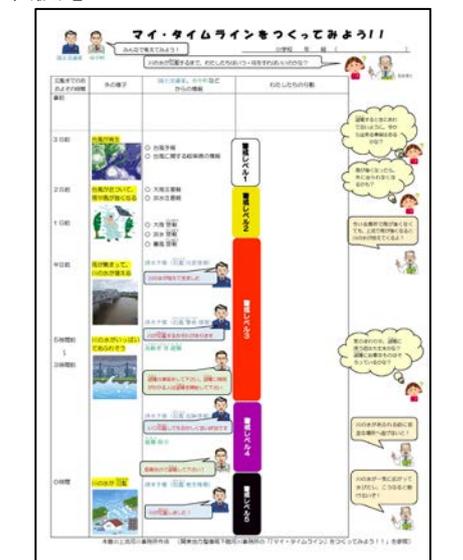
4. わたしたちに出来ること(自助について)

本時のねらい（目標）

水害には予兆があることを理解し、身近な場所の危険を知ったうえで、自分事として事前の備えについて考える。

※指導計画の-----は、予想される児童の発言（児童に伝えたい発言）を示す。

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
導入 (10分)	<p>1. 水害に対して、準備している状況と、準備していない状況の違いをイメージする。</p> <p>発問： ・水害が起こりそうなとき、私たちは何をすべきでしょうか。いつ、何をすべきか、をマイ・タイムラインというものを作りながら考えていきましょう</p> <p>(映像を流す)</p> <p>発問： ・事前に備えをしておくことの大切さについてわかりましたか？</p>		<p>【資料1】マイ・タイムラインの必要性に関する映像</p> 
展開 前段 (10分) 小集団	<p>2. ハザードマップを使って、家の周りの危険な箇所について調べる。</p> <p>※ハザードマップ（可能であれば学区内を拡大印刷したもの）をグループ毎に配布する。</p> <p>発問： ・この地図はなんでしょう？何が示されていますか？</p> <p>-----</p> <p>・洪水ハザードマップ ・地図の色は、堤防が決壊したときの浸水深 ・洪水のときの避難所が書いてあるなど</p> <p>発問： ・学校の場所、みんなの家、通学路、よく利用する場所（印をつける）は、どのくらいの深さまで浸水しますか？（土砂災害の危険はありますか？）</p> <p>・浸水や土砂の危険がなくても、雨が降ったときに道路が浸水すると、水路やマンホールの位置など、足元が見えなくてあぶないですね。そのような道路が低くなっているところ（アンダーパスなど）や、水路が通っているところがあれば、印をつけたり「危険」と書いておきましょう。</p> <p>・洪水の時は、「川や水路沿い」「川と川にはさまれた場所」「低い土地」が危険です。そのような場所では、「大雨のときには避難する」という心がまえが必要です。</p>		<p>【資料1】ハザードマップ ※市町村のホームページ内の「洪水ハザードマップ」や、ハザードマップポータルサイト https://disaportal.gsi.go.jp/などで、地域のマップを確認ください。</p> <p>【参考】 「ハザードマップについて」 ・ハザードマップには、洪水・土砂災害・津波など種類があります。 ・ハザードマップに掲載されている浸水範囲は、浸水想定区域図が公表されている河川（法律で決められた河川や国・県・市が特別に必要と判断した河川で、浸水する範囲などをシミュレーションしたもの）のみを対象としています。小さな水路などが溢れた場合やハザードマップ以外の範囲が浸水することもあります。 ・ハザードマップは複数の浸水想定範囲を重ね合わせて、最大となる浸水深を示している場合もあります。 ・浸水想定区域図が更新された後、ハザードマップも更新されますが、その時期は地域によって異なります。市町のホームページなどで最新の情報を確認する必要があります。</p>

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
<p>展開後段 (15分)</p>	<p>3. 水害には「予兆」があり、突然起こる地震とは異なり、避難行動の準備ができることを知る。 また、各自必要な準備や行動・そのタイミングを、自分事として考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問： ・では、どのタイミングで、どんな行動をとるべきでしょうか。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・台風が発生したら、持ち物を準備する ・台風が発生してから避難したあとも、情報の確認は必ずとする など</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問： ・今みんなで考えた、いつ、何をするかイラストをヒントに、マイ・タイムラインを、作成シートに記入していきましょう</p> </div> <p>※各自（個人の家の状況で異なる）の行動を考え記入させる ※グループで共有・話し合いをして、自分では気付かなかった行動に気づく ※マイ・タイムライン作成シート（標準版）に記載の「警戒レベル」の説明が必要な場合は、資料1（掲示資料（参考））を参照ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>解説： ・水害は、地震のように突然発生するのではなく、台風が発生して、近づいてきて、大雨が降って…というように、「予兆」があります。なので、家が浸水するような状態になる前に、準備をして逃げる事ができるのです。 ・マイ・タイムラインシートに記入したような行動を、危なくなる前に実施することが、自分や周りの人の命を助けることとなります。</p> </div>	<p>指導上のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間経過と行動をイラストでイメージさせる ・「低い土地へ逃げる」、「川のように見に行く」は危険なので絶対しない ・児童の意見を引き出し、タイミングカードの横（下）に、キーワード（ヒント）カードを並べていく 	<p>教材解説</p> <p>【資料2】 タイミングカード</p>  <p>【資料3】 キーワード（ヒント）カード</p>  <p>【資料1】（参考）警戒レベルについて</p>  <p>【マイ・タイムライン作成シート（標準版）】</p> 

流れ	発問計画	指導上のポイント	教材解説
			<p>【マイ・タイムライン作成シート（簡易版）】</p> 
<p>終末 (10分)</p>	<p>3. 家の人と話しあい、各家庭のマイ・タイムラインを作成したり、一人でいるときにどのような行動をすべきか、話合うこと、また、台風がきたときには練習として行動を実際に試してみる(うまくいかないことがあれば書き直す)ことを促す</p>		

授業のポイント

自助については、「自分の命は自ら守る」大切さについて授業を通して児童に伝えたい。